

第 14 回 JAL 杯北海道ミックスダブルス
カーリング選手権大会
札幌地区予選

チームミーティング資料
(審判長事前通知)

札幌市

どうぎんカーリングスタジアム

2020/10月23日(金)～10月25日(日)

この文章は、大会の競技に関する事項をまとめたものであり、大会の開始に先立って、出場する各チームに大会事務局を通じて配布されます。

したがって、出場するチームの選手はもとよりコーチも、この文章を事前に読んで理解をし、大会当日に持参して下さい。本大会は JCA 競技規則 2018.11 版（桜色版）及び競技規則の解説（2019.10 版）を適用します。

なお、特に必要があると認めたときは、大会中に追加通知を行う場合がありますので留意願います。

コロナウイルス感染予防の関係からチームミーティングと開会式は行いませんので、競技規則及び本事前通知事項を熟知されるよう、ご理解をお願いいたします。

また、公益社団法人 日本カーリング協会からだされております「スポーツイベントの再開に向けた感染拡大防止ガイドライン」（カーリング競技大会開催に向けた感染拡大防止ガイドライン）（令和 2 年 6 月 11 日）の取り組みに応じた行動をとられますよう、また、「札幌市有スポーツ施設の利用にあたっての遵守事項等について（新型コロナウイルス感染症対策）」（2020/09/01）に基づき、どうぎんカーリングスタジアムの各所に対する利用人数の上限を遵守されますようお願いいたします。

令和 2 年 1 0 月

大会審判長 上口 愛

カーリング精神

カーリングは技術と伝統のゲームです。技を尽くして決められたショットは見る喜びです。また、ゲームの神髄に通じるカーリングの古くからの伝統を見守るのは素晴らしいことです。カーラーは勝つためにプレーしますが、決して相手を見くんだりしません。真のカーラーは相手の気を散らしたり、相手がベストを尽くそうとするのを決して妨げたりしません。不当に勝つのであればむしろ負けを選びます。

カーラーは、ゲームの規則を破ったり、その伝統を決して軽視したりしません。不注意にもこれが行われていると気がついた場合、その違反を真っ先に申し出ます。

カーリングの主な目的が、プレーヤーの技術の粋を競うことである一方、ゲームの精神は立派なスポーツマンシップ、思いやりの気持ち、そして尊敬すべき行為を求めています。

この精神は、アイスに乗っているいないに関わらず、ゲームの規則の解釈や適用に生かされるだけでなく、全ての参加者の振舞いにも生かされるべきものです。

1. 大会日程等

本大会の日程については、既に示されている「タイムスケジュール」のとおりである。日時・使用するシートに変更等ある場合、本部前の掲示板に明示する。

2. ラインナップカード及び選手登録

選手登録の変更は、受付時にラインナップカードを提出すること。ラインナップカードを提出した後の変更は認めない。また、補欠選手の登録はできない。

尚、試合中の投球順の変更は、エンド毎に自由にできる（審判長への報告は不要）。

3. 競技方法

第14回 JAL 杯北海道ミックスダブルスカーリング選手権大会札幌地区予選は以下の競技方式によって行われ、道央ブロックミックスダブルスカーリング選手権大会に札幌地区代表として出場する12チームを選考する。

- (1) 予選は、シード3チームを除いた34チームによるダブルノックアウト方式
- (2) 代表決定戦は、シード3チームと予選を勝ち抜いた21チームの合計24チームによるダブルノックアウト方式

4. 順位決定方法

(1) 予選

予選は、ダブルノックアウト：W-1-1回戦及びW-1-2回戦の組み合わせで行う。予選が終了した時点で、勝率2勝0敗グループ、及び、1勝1敗グループに分け、各グループのDSC（予選2試合のLSDの合計値）により序列を決める。

序列4から24までの21チームが代表決定戦に進む。

(2) 代表決定戦

代表決定戦は、シード3チームと予選を勝ち抜いた21チームの合計24チームでダブルノックアウト：W-2-1回戦及びW-2-2回戦の組み合わせで行う。代表決定戦が終了した時点で、勝率2勝0敗グループ（1位から6位の確定）、及び、1勝1敗グループに分け、各グループのDSC（代表決定戦の2試合のLSDの合計値）により序列を決める。

序列1位から12位を代表1から12とし、序列13位から17位を予備代表1から5とする。

5. ストーンの割り当てと配置

- (1) 予選は、トスで勝ったチームが、先練（赤ストーン）・後練（黄ストーン）を選択することができる。
- (2) 代表決定戦は、序列上位が先練（赤ストーン）・後練（黄ストーン）を選択することができる。
- (3) ハウス前に置くストーン（A）の位置について、試合開始前に、審判長が決定し本部前の掲示板に明示する。
- (4) 最初のストーンの配置決定はLSDの距離が短いチームが配置を決める。
- (5) パワープレーは予選、代表決定戦においてストーン配置の決定権を持った時に1回だけパ

ワープレイの配置を選択することが出来る。(エキストラでは出来ない)

(6) LSD は各試合 2 投行う。1 投目は時計回り、2 投目は反時計回りの回転で異なる性別の選手が投球しなければならない。違反した場合は 185.4cm と記録される。規則 C8-(d)

予選・代表決定戦ともに選手は時計回り・反時計回りをそれぞれ 1 回ずつ投球しなければならない)

(7) 6 個のストーンを使用するが、大会事務局が×印をつけたストーン以外を使用すること。また、試合終了後使用した 12 個のハンドルのクリーニングを行うこと。

6. 試合前練習

予選及び代表決定戦の開始前に、各チームにはゲームストーンのみを使った **2 分間**の練習が許可される。練習に関する指示はハンドマイクで行なわれる。

練習は試合開始 **10 分前**から赤色のストーンのチームが行い、終わり次第黄色のストーンのチームの練習が開始される。それぞれのチームは練習終了後に直ちに LSD を行う。

7. 試合の長さ

予選、代表決定戦ともに 6 エンドまたは 72 分とする。試合終了 8 分前に「8 分前コール」を行うので、その時点で成立しているエンドで終了すること。

「8 分前コール」とは、審判員の合図があった時点で成立しているエンドをプレーすることができる。

エンドの成立とは、先攻・リードの 1 投目が投球側のティーラインに達した時点である。

最終エンド終了時点で同点の場合は、サドンデスのエキストラエンドを行う。

本大会では最低競技エンド数は設けない。

1 エンド 12 分を目安にスケジュールを組んでいるので、スピーディな試合進行をお願いする。

本大会は、デッドタイムを設けていないので、準備ができ次第試合を再開してよい。

8. 計時

試合はカールタイムを使用せずランニングタイムで行う。

9. プレー中のユニフォーム

なるべく統一したユニフォームが望ましいが、今年限りユニフォームは、統一されなくても認める。

背文字は必ず入れること。地域名、チーム名、団体名、姓または名のうち 1 つ以上で統一すること。上着を脱ぐ場合も同様とする。

10. チームタイムアウト、テクニカルタイムアウト

チームタイムアウト・テクニカルタイムアウトは、ありません。

11. プレーエリアに入る際の靴

選手・コーチ・チーム関係者がプレーエリアで履く靴はきれいであればならない。そうで

ない場合、プレーエリアに入ることは許可されない。

12. アイスへのダメージ

選手は用具、手、体でアイス表面にダメージを与えてはいけない。アイスへのダメージに関しては以下の方針で対処を行なう。

- (1) アイスを傷める可能性のある深刻な動作・行動が審判によって見掛けられた場合、または相手チームから判断を求められた場合、審判は確認を行なう
- (2) 審判はその動作・行動が「偶然起こった」あるいは「避けることができた」ものだったかどうかを決定する。
- (3) もしその動作・行動が避けることのできるものだった場合(例: ストーンをデリバリーしてから長い時間手やひざをアイスの上に置いた・スweepの指示を出す際に、ハウス内の氷の上に手を置いた)、アイスメーカーの補助を得てダメージがあるかどうか判定する。
- (4) ダメージがなければ何も行なわない。ダメージがあれば修復する。

手順: 【JCA 競技規則 R10(a)】

- (i) チームミーティングでの警告、手順の説明
- (ii) 1回目 = 最初の公式なオンアイスでの警告、アイスの修繕
- (iii) 2回目 = 2回目の公式なオンアイスでの警告、アイスの修繕
- (iv) 3回目 = アイスの修復、選手のゲームからの退場

本大会はチームミーティングを行わないがこの通知を持って警告とする。

13. 計測【JCA 競技規則 R11(d)】

計測が必要な場合、プレーしている選手の中に審判資格等持っている方がいる場合、その選手が計測しても構わない。但し、R11(g)が適用されるので十分注意してください。できない場合は、審判長等に合図し、計測してもらう。

14. 選手の位置【JCA 競技規則 R4】

投球動作中は、投球していない側のチームの選手はサイドライン沿いのコーテシーライン間の位置で静止していなければならない。**(今大会はコロナウィルス感染予防のため、Eシート側に待機すること)**ただし、次の投球を行なう選手は、投球する側のハックの後ろのシートの端の位置に静止していても良い。

投球していない側のチームのスキップまたはバイススキップは、プレー側のバックラインより後ろの位置に静止していても良いが、投球している側のチームのスキップまたはバイススキップの立ち位置を妨害しないこと。

15. ホッグライン違反

今大会ではホッグラインセンサーを使用しません。ホッグライン審判員も配置しません。ホッグライン違反が疑われる時は審判員に申し出ること。

16. 得点

そのエンドの得点が合意されたら、ハウスを任されているプレーヤーは速やかに得点版に得点

をいれること。

試合が終了した時点で、チームのスキップはスコアカードにサインをしなければならないが、その際にその試合の得点合計等、記載されている事項に間違いがないか確認してサインすること。

17. 不当な行為 (JCA 競技規則 R 1 7)

SCA 主催大会に出場する選手及びコーチは他のカーラーの見本となるべきである。選手の振る舞いや、ゲーム中の態度は多くのファンやカーラーが注目しています。勝敗やショットの成否によって感情が表に出ること自体は、至極自然な事ではあるが、「氷をブラシでたたく」などの行為は、決して認められるものではありません。

そういった行為の制限について、本通知事項を1回目の注意とします。

試合中に同様の行為があった場合は、即座に審判員が直接注意を行います。不当な行為・不快もしくは攻撃的な言動・用具の悪用や選手、コーチや大会関係者への意図的な攻撃は禁止される。違反行為に対しては、退場処分が科せられる事がある。

18. 喫煙

指定された喫煙場所以外の施設内は禁煙である。

19. 携帯電話

競技領域に入る前に携帯電話の着信音は切っておくこと。

20. 整理整頓

競技領域は常に整理整頓しておき、ごみは全て持ち帰ることを原則とする。

21. 報道

カーリングを行なうには報道機関の支援が必要である。したがって、全ての選手、コーチ、チーム関係者は報道関係者の常識的な要求には協力することが求められるが、何か問題がある場合は、審判長や副審判長に伝えること。

22. 静止画および動画撮影に関する同意

エントリー時点で肖像権等、個人の権利主張は行わないことを承諾したものとみなします。

23. 用具

(1) 各選手は試合開始時に、使用する承認済みスウィーピング用具を指定し、試合中はその選手のみがその用具をスウィーピングに使用できる。違反した場合ストーンはプレーから取り除かれる。競技規則 C3 (e)

(2) 選手は審判長が特別に許可した場合を除き試合中にブラシヘッドを換えることができない。許可なく取り換えた場合、チームは不戦敗となる (C3 (f))。

24. 基準に則っていない用具を使用した場合の罰則 (C3 (i))

SCAによって規定された競技用具の基準に則っていない用具をSCAの大会で使用した場

合の罰則は以下の通り。

- (1) 大会中最初の違反をしたチーム - 対象となる選手は大会失格処分となりチームは当該試合を不戦敗とする。
- (2) 大会中二回目の違反をしたチーム - チームは大会失格処分となり選手全員が今後12ヶ月間にわたりJCAの大会への出場が認められない。

25. 新型コロナウイルス感染拡大の防止に関して

新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、大会期間中だけでなく、その前後の期間にわたって、「スポーツイベントの再開に向けた感染拡大予防ガイドライン」(公益社団法人日本カーリング協会 競技大会用(カーリング競技大会開催に向けた感染拡大予防ガイドライン))に基づいた行動を取ることを。

- ・ 本大会前2週間以内及び期間中に、選手、コーチまたはチーム関係者が、感染が疑われる場合、あるいは感染が疑われる方の濃厚接触者(同居家族や身近な知人)である場合は、出場を見合わせる。
- ・ 事前に配布されている健康チェック表及び行動記録表を必ず提出すること。チーム及びコーチ・チーム関係者を含め提出されていない場合、チームは大会に参加できない。意図的に感染に関する情報を偽って報告した場合個人及びチームは何らかの処罰を受ける場合がある。
- ・ 大会期間中に感染が疑われる症状が認められた場合には、すみやかに大会事務局、競技委員長、審判長のいずれかに連絡する。
- ・ 競技中を除き、必ずマスク等を着用する(各自十分な枚数を用意すること)。
- ・ こまめな手洗いやアルコール等による手指消毒を心がける。
- ・ ティッシュ等の競技者個人のごみは、個々でビニール袋等を用意し、試合終了後密封して持ち帰る。

上記以外の遵守事項、留意事項についてまとめた「感染防止策チェックリスト」を会場内に掲示するので、各自確認のこと。

26. その他

- (1) JCA 競技規則と審判長通知事項の解釈に違いが有る時は JCA 競技規則を優先する。
- (2) 審判長通知事項および競技規則に記載されていない事柄が発生した場合は、その都度審判長が対応する。
- (3) プログラムに記載されている試合時間は、あくまでも予定時間です。試合経過により変更になる場合や、試合が行われるシートが変更となる場合もありますのでご了承願います。
- (4) 試合が続行されている場合であっても、試合が終了したシートから製氷作業を行う場合がありますのでご了承願います。
- (5) 試合終了後は勝利チームはモップによるアイスクリーニング、敗者チームはストーンの消毒をお願いします。スコアカードは審判員に渡してください。
- (6) 選手が最高のパフォーマンスを発揮し、多くの良いゲームで大会が成功するように役員・審判員を配置しておりますが、厳しい配置人数となっておりますので LSD 計測時の記録について各チームの協力をよろしくをお願いします。